

『廃油キャンドル作り』

西学区まちづくり推進委員会 環境部会

7月16日、西公民館実習室で『廃油キャンドルづくり』がありました。14名の参加を得て各自持ち寄ったジヤムの空き瓶、コーヒーカップにキャンドル作りを始めていきます。廃油を温めるときはかき揚げ天ぷらの匂いがして食欲をそそってくれました。芯を入れる前にロウが固まり始める人、クレヨンの色が思ったほど良く出なかった人、みなさん初めての挑戦でしたが”なかなか”の出来栄えのようでした。

そして火を点けてみました。最初は煤が多くアロマの匂いもしません。段々と芯が短くなり煤は出なくなりました。と同時に心を癒すこちよいアロマが匂ってきます。ローソク特有の癒し効果に疲れも飛んでいきました。



- 1、好きな色のクレヨン1本をナイフで削る(ロウに溶けやすくするため)
- 2、廃油をコーヒーフィルターで濾す
- 3、廃油を鍋に入れ80℃前後に温めたところへクレヨンを入れてよく混ぜる
- 4、廃油凝固剤★を入れて軽く混ぜる→★廃油を処分するときに固めるもの
廃油100mlに対し凝固剤5～6g程度
- 5、芯にするタコ糸(約10cm程度)を廃油に沈める(ロウを染み込ますため)
- 6、温度が60℃前後に下がったところでアロマオイルを5～10滴入れかき混ぜる
- 7、固まってきたら廃油からロウに”変身”です。
- 8、5で準備したタコ糸の片方にゼムクリップをつけ重しとして沈め、芯は容器の中央になるよう取り付け(芯を割りばしで挟んで容器の淵に置くと簡単です)
- 9、容器にロウを入れる。約1時間程度で固まります。



【真剣に説明を聞いてます】



【芯を固定してロウが固まるまで待ってます】



【火を点けるのがモッタイナイほどの出来栄えです】